

。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2017. 6. 26

下水道機構の『新技術情報』 第289号

(公財) 日本下水道新技術機構 <https://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

沖縄で梅雨があけると本州では梅雨が本格的になりますね。梅雨前線の停滞で九州南部を中心に非常に激しい雨となっているようです。土砂災害や低地での浸水、河川の増水、落雷等、どうぞお気を付けください。

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第289号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・6/22 付で岡久浩史 専務理事が退任し、塩路勝久 参与が専務理事に就任しました
- ・6/23(金)に第1回審査証明委員会を開催しました

■機構の動き

- ・今週は、6/27(火)に技術マニュアル活用講習会@大阪会場を開催します

■Tea Break

- ・梅雨時に (技術評価部 Hiro さんからの投稿です)

■まる子のゆいまーる♪

- ・今回のゆいまーるは、鎌倉アジサイ巡りをお届けします

■下水道浸水対策ポータルサイト「アメッジ」情報

- ・今回は、「パワートレイン」について紹介します

■国からの情報

- ・6/23 付下水道ホットインフォメーション

。○。○。

インフォメーション (最新的话题です)

。○。○。

- 6/22 付で岡久浩史 専務理事が退任し、塩路勝久 参与が専務理事に就任しました

6/22 付で岡久浩史 専務理事が退任し、塩路勝久 参与が、6/22(木)の当機構評議員会において理事に選任され、当日開催された理事会において専務理事に選任されました。

●6/23(金)に第1回審査証明委員会を開催しました

6/23(金)に平成29年度 建設技術審査証明事業(下水道技術)第1回審査証明委員会を開催し、今年度申請のあった新規技術6件、変更Ⅰ技術16件、変更Ⅱ技術5件、更新技術15件、継続技術3件、計45件の技術について審議を行いました。

。○○。

機構の動き (機構の行事予定です)

。○○。

●平成29年度技術マニュアル活用講習会

【大阪会場】日時：平成29年6月27日(火) 13:30~16:30

場所：大阪科学技術センター401号室 (大阪市西区鞆本町1-8-4)

※参加申し込み受付は終了しました。

○第23回下水道新技術研究発表会

【東京会場】日時：平成29年7月7日(金) 13:00~16:45

場所：東京都港区 発明会館

【大阪会場】日時：平成29年7月12日(水) 13:00~16:45

場所：大阪科学技術センター

【定員】東京会場250名、大阪会場120名

※先着順となります。

※大阪会場は定員に達したため、募集を締め切りました

※詳細及び参加申し込みはこちらから

<https://www.jiwet.or.jp/trainings/workshop/workshop-form>

○行事：第361回技術サロン

場所：機構8階 中会議室

日時：平成29年7月13日(木) 16:00~17:00

ゲスト：東京都 下水道局 計画調整部

エネルギー・温暖化対策推進担当課長 佐藤 勝 氏

テーマ：『下水道事業における地球温暖化防止計画「アースプラン2017」策定と削減対策の主な取組について』

※お申し込みは機構ホームページから

→ <https://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

。○○。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

。○○。

●梅雨時に （ 技術評価部 Hiro さんからの投稿です）

いま、街角や公園には紫陽花や花菖蒲が咲いています。梅雨時の青紫系の花は雨の中でも映え、心も落ち着き、私も好きな花の一つです。

今年の梅雨は関東では、夏日になるような晴れの日が続いたと思ったら、突然、雷鳴とともに大粒のヒョウや激しい雨が降り、荒れた天気になる日もあります。しかし、今のところ、例年に比べると降水量が少ないようで、この夏の水不足が心配です。

さて、いきなり仕事の話で恐縮ですが、例年この時期に、審査証明事業も本格的に始動します。過日（9日）の機構役職員による受付審査会では、対象技術としての適否が審査され、また、先週23日には学識経験者等で構成される第1回建設技術審査証明委員会が開催され、諮問後に審査方針等が決定されました。7月には5つの部門別委員会が予定されるなど、来年3月の審査証明交付までスケジュールが目白押しになってきます。

特に9月から11月にかけて技術評価部の職員は、委員会立会や確認試験で機構にほぼ不在の状態になります。また、毎年この時期に体調を崩す人もいますので、健康第一に皆で乗り切りたいと思います。

。○○。

まる子のゆいまーる （皆様との交流の場です）

。○○。

●今回のゆいまーるは、鎌倉アジサイ巡りをお届けします

→ <https://www.jiwet.or.jp/publicity/yuimaru/2017-6-26>

!(^^)!皆さまからの情報提供をお待ちしております(^^♪

提供はこちらまで→ jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則400字以内。写真等はA4版にして原則2ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

。○○。

下水道浸水対策ポータルサイト「アメッジ」情報

。○○。

国土交通省では、平成28年度より下水道浸水対策ポータルサイト「アメッジ」を試行的に運用し、地方公共団体の職員が職場に居ながら浸水対策に係る情報を入手して技能を習得できるよう、国や各都市の取組、統計情報や雨道場の情報等を配信しています。

当機構では、国土交通省の政策支援として、アメッジにおけるコンテンツの充実化

や改良を行い、浸水対策の促進を図っています。

今回は、アメッジのコンテンツのうち、「パワートレイン」について紹介します。

●「パワートレイン」の紹介

下水道浸水対策ポータルサイト「アメッジ」では、様々なコンテンツを公開しています。今回は、台風やゲリラ豪雨が発生したときに建物の浸水被害を軽減防止するために、身近でできる防災活動手法や止水板の設置例等を掲載している「パワートレイン」について紹介します。

「パワートレイン」では土のうを使用した防災活動手法として、土のうの入手方法や積み方等を紹介しています。他にもごみ袋やプランターを使用した方法や止水板、防水扉などの対策事例を紹介しています。

今後は、各都市で行われている防災・水防訓練の予定表を掲載する予定です。

いざという時のための浸水対処法をご覧になりたいという方はぜひ、「パワートレイン」をご活用下さい。

「パワートレイン」URL : http://shinsui-portal.jp/pt_top/

なお、アメッジ内の一部コンテンツにおいて、事前登録（現時点では、国と地方公共団体が対象です。）が必要なものがあります。新規登録は、以下の URL よりお願いします。

登録画面 URL : <http://shinsui-portal.jp/regist/>

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====

下水道ホットインフォメーション（2017.6.23 付 国からの最新情報です）

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課企画専門官 堂蘭洋昭

=====

先週の続きで、佐賀県の話です。佐賀は、見所も多く、虹ノ松原をはじめとした景勝地、干満の大きな有明海の干潟、穀倉地帯の佐賀平野の風景等が印象に残っています。

秀吉の朝鮮出兵時に築城され、当時、30万とも言われる人々が暮らした名護屋城跡は今も石垣が残り、当時、全国の大名が築いた様々な組み方の石垣を同時に、一箇所で見ることができます。

四隅が崩されているのは、島原の乱の後に、堅固な城を攻略をすることの難しさを知った幕府が、弱体化を図るためにあえて崩したとのこと、歴史を感じます。場所柄、朝鮮半島に近いこともあり、近くの県立博物館では、地元で出土した本当に多くの勾玉（まがたま）や青銅の鏡等も見ることができます。

バルーンフェスタや有田の陶器市等のイベントも多く、唐津で行われる唐津くんちは、曳山の見事さはもちろんですが、例えば若い人は曳山をひくために茶髪を黒髪に染め直して参加するなど昔の祭りの雰囲気、慣習を大切にしたすばらしい祭りでした。

佐賀は、福岡から特急で 30 分程度、バスでも 1 時間程度です。足を運んでみてはいかがでしょう。

★★★★★ 今週のヘッドライン ☆☆☆☆☆

- 国土交通省下水道部の人事異動（下水道部）
- 第 31 回 「下水道循環のみち研究会」 日時変更のご案内（（一社）日本下水道施設業協会）
- 今注目されている官民連携導入の最新事例を学びませんか。（日本下水道事業団研修センター）
- 京都府流域下水道共同研究者の公募を開始します。（京都府）
- 京都市が日本下水道施設業協会と災害時協定を締結しました！（京都市）
- 第 16 回リン資源リサイクルシンポジウム～資源戦略と持続可能なリン利用～のご案内（リン資源リサイクル推進協議会）

=====

○国土交通省下水道部の人事異動（下水道部）

●転入者

下水道企画課 法規係長 吉見 紗（航空局 航空ネットワーク部 首都圏空港課より）

●転出者

観光庁観光資源課 係長 丹下 涼（下水道企画課 法規係長）

○第 31 回 「下水道循環のみち研究会」 日時変更のご案内（（一社）日本下水道施設業協会）

前回ご案内した第 31 回「下水道循環のみち研究会」は、日程を 7 月 13 日（木）午前に変更して開催することとなりました。お手数お詫び申し上げます。

- ・日時：平成 29 年 7 月 13 日（木）午前 10 時 00 分～11 時 30 分
- ・場所：（一社）日本下水道施設業協会 大会議室
- ・テーマ：「流域から見た循環のみち」
- ・講師：国土交通省下水道部流域管理官 岡本誠一郎様

今回のセミナーは、国交省下水道部流域管理官に就任された岡本様をお招きし、下水道普及率も 8 割に近づき、河川等の水質は向上する一方、雨や栄養塩等の諸課題を、「技術」と「行政」をどう相補わせながら解決していくか、お話し頂き、意見交換させていただきます。

参加ご希望の方は 7 月 3 日（月）までに施設協 HP からお申し込みください。

積極的な参加をお待ちしております。

<http://www.siset.or.jp/contents/?CN=301&ID=151>

○今注目されている官民連携導入の最新事例を学びませんか。（日本下水道事業団研修

センター)

政府が定める新たな成長戦略「未来投資戦略2017」(平成29年6月9日閣議決定)には、下水道事業におけるPPP/PFIの活用拡大のために取り組むべき具体施策が盛り込まれています。

日本下水道事業団研修センターでは、地方公共団体の職員を対象にコンセッション方式を含めた下水道事業における官民連携の取り組みについて、これまで行われた実施事例の解説とともに講師と参加者による意見交換を通じて知識と理解を深めていただくため、7月4日火曜日に1日コースの研修を開催します。

研修内容の詳細は次のURLをご覧ください。

https://www.jswa.go.jp/kensyu/goannai/iciran/koumu_pdf/k-kanmin.pdf

(申し込み・問合せ先)

日本下水道事業団研修センター 研究企画課 電話 048-421-2692

○京都府流域下水道共同研究者の公募を開始します。(京都府)

京都府の流域下水道では、処理場施設や幹線管渠の維持管理等に関する課題解決をテーマとして、企業や大学・研究機関と装置の開発等を行う、公募型共同研究に取り組んでいます。

この度、平成29年度のテーマとして、下水道管路内の水温変化に着目して、下水の水温を連続して測定することにより、降雨時に雨水が浸入する区域を絞り込むための「雨天時浸入水調査装置」の共同研究者を公募します。積極的な応募をお待ちしています。

公募期間：6月19日(月)～7月14日(金)

対象者：国内の企業、大学・研究機関等

※その他詳細は京都府ホームページを御確認ください。

<http://www.pref.kyoto.jp/gesuido/16400030.html>

○京都市が日本下水道施設業協会と災害時協定を締結しました！(京都市)

京都市は、日本下水道施設業協会と『自然災害による下水道機械・電気設備緊急工事に関する協定』を6月7日に締結し、地震などの災害発生時に、京都市が管理する下水道機械・電気設備を対象として、日本下水道施設業協会が支援活動を行うこととなりました。

今回締結する協定は、災害発生時においても円滑に調査復旧作業が着手可能な体制を確立し、下水道関連施設の速やかな処理機能の拡幅を図ることを目的としたものです。

○第16回リン資源リサイクルシンポジウム～資源戦略と持続可能なリン利用～のご案内 (リン資源リサイクル推進協議会)

<http://www.jora.jp/rinji/rinsigen/index.html>

- ・日時：平成 29 年 7 月 21 日（金）13:00～16:50
- ・会場：日比谷図書文化館 B1F 日比谷コンベンションホール
<http://hibiyal.jp/hibiya/access.html>
- ・参加費：会員・学生－無料、一般－4,000 円
- ・内容：
 - 13:00～13:05 開会
 - 13:05～13:10 平成 29 年度 功績者 表彰
 - 13:10～13:30 来賓挨拶
 - 13:30～15:30 講演・事例発表（仮題）
 - 日本の鉱物資源戦略
経産省 資源エネルギー庁 鉱物資源課 課長補佐 水上 定洋 氏
 - 下水道イノベーション（生産性革命プロジェクト）国交省 水管理・国土保全局
下水道部 下水道企画課 下水道国際・技術調整官 石崎 隆弘 氏
 - 製鋼スラグからの鉄・リン回収と再資源化技術 新日鐵住金（株）
技術開発本部 プロセス研究所 製鋼研究部 上席主幹 原田 俊哉 氏
 - 混合堆肥複合肥料関連 朝日工業（株） 農業資材本部 開発部 部長 浅野 智孝氏
(休憩 15 分)
 - 15:45～16:45 総合討論
 - 16:45～16:50 閉会

☆皆様のご参加をお待ちしております。

お問合先：（一社）日本有機資源協会 内 リン資源リサイクル推進協議会 事務局

担当：土肥、菅原、柴崎

電話：03-3297-5618 E-mail：prpc@jora.jp

=====

【参考情報】

◆ワシントン DC「トイレに流せる製品」条例規制案への製造業界の妨害工作〈6/15 ワシントンポスト〉

https://www.washingtonpost.com/local/dc-politics/to-wipe-or-not-to-wipe-dc-is-in-congress-crosshairs-over-flushability/2017/06/15/06dd3b58-51e9-11e7-b064-828ba60fbb98_story.html?utm_term=.295cf2687666#comments

◆山形大、薬剤耐性菌まん延を下水で監視〈6/20 日本経済新聞〉

http://www.nikkei.com/article/DGXLASFB17H0B_Z10C17A6L01000/

◆2年連続で水質改善傾向 三河湾／基準クリアも「ギリギリ」／豊橋市監視は継続〈6/19 東日新聞〉

<https://www.tonichi.net/news/index.php?id=61113>

◆平成 29 年度「夏のアクア施設体験ツアー」募集開始！〈6/19 茨城県〉

<http://www.pref.ibaraki.jp/doboku/gesui/kikaku/aquatour/h29/>

◆夏川の洪水浸水想定区域を指定 岩手県 <6/17 河北新報>

http://www.kahoku.co.jp/tohokunews/201706/20170617_33045.html

◆消化ガスで 440 世帯分を発電、地域新電力がエネルギーを地産地消 <6/15 スマート
ジャパン>

<http://www.itmedia.co.jp/smartjapan/articles/1706/15/news032.html>

◆仮設トイレ設置で協定 災害時に石垣市と市内9業者し尿収集協力も求める <6/10
八重山毎日新聞>

<http://www.y-mainichi.co.jp/news/31765/>

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<https://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信停止はこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>

○ニューズレターはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/newsletter/20170426/index.html>
